

松永安左工門 まつしげ 實業家。明治八年十一月一日長崎縣生れ、昭和四十二年八月十六日歿（八五—一九七二）。幼名龜之助。號耳庵。慶應義塾中退。明治二十五年在友業福松商會と興じ、うち九州地方の電力業界に進出。大正六年衆議院議員、十一年東邦電力を創り、昭和二年社長、二十四年電気事業再統合審議會會長、二十八年電力中央研究所を設立す。

著書「口と界の濤公洗はれて（童岐と少年時代）」（昭和八年九月十日國民時論社）、「口いみなりの談義」（昭和二十四年九月二十五日実業之日本社）、「口人間・梅澤訓吉」（昭和二十九年一月一日実業之日本社）、「口実業新書」（、）、「口福沢諭吉とその周囲」（合著・慶応義塾編、昭和二十九年四月二十日慶応義塾）、「口現代中国と孫文思想」（合著、昭和四十一年二月二十八日講談社）等。宇佐美省吾著「口電力の魁—松永安左工門瞻禮控」（昭和二十二年十一月十日青蛙房）刊。